

海外市場情報 -79- 「2025年海外の展示会」

Global Powder Technology Market -USA and More -79-

トリプルエーマシン(株) 代表取締役 石戸 克典

1. はじめに

米国で、第2次トランプ政権が始動した。米国至上主義がどこまで北米の生産現場に影響が出るのか、また各国の産業にどう影響するのか、世界が固唾をのんで見守っている。世界の展示会もコロナ禍前の状態に戻った感があるが、バーチャル展示会や YouTube 動画などが増えてきており、リアル展示会への出展回数を減らし、内容を簡素化している会社が見受けられる。一方で、ローカル展示会を重視して営業チャンスの拡大につなげている会社もある。1年の初めに2025年の注目すべき海外展示会について述べる。

2. 北米の展示会

2025年に北米で開催される、粉体に関連する主な展示会をリストアップする。

- 1) **Interpex NY** - New York, NY、4月1～3日（毎年開催）
<https://www.interpex.com/en-us.html>
医薬関係の展示会で、湿式プロセス機器関連が多い。
- 2) **IAOM (international Association of Operative Millers)** - Oklahoma City で4月28日～5月2日19日（毎年開催、129回目、主に小麦粉製粉関連）
<https://www.iaom.org/event/129th-annual-conference-expo/>
- 3) **Ceramics Expo 2025** - Novi, MI、4月28～30日（第11回、毎年開催、セラミックス関連）
<https://www.ceramicsexpousa.com/>
- 4) **international Powder & Bulk Solids iPBS2025** - Rosemont, IL、4月29日～5月1日（隔年開催）
<https://www.powdershow.com>（米国パウダーショー）
（粉粒体ハンドリング技術に特化した北米最大の展示会。微粉技術というより、大型バルクハンドリング技術の展示が多い。）
2023年実績3000人以上（来場者）、350社以上（出展社）
- 5) **The Battery Show 2025** - Detroit, MI、10月6～9日（毎年開催、電池関係）
<https://www.thebatteryshow.com/en/home.html>
- 6) **Powder & Bulk Solids Toronto 2025** - Toronto, CANADA、10月21日～23日（隔年開催）
<https://www.admtoronto.com/en/show-brands/pbs-toronto.html>
（D&M、ATX、PACK EX、PLAST-EX、EV TECH 展示会との合同製造系展示会。粉体技術だけの展示会ではない。）

米国は国土が広く、生産工場の立地も、西海岸、東海岸、中西部北、南部テキサス州などに散らばっており、展示会も比較的小規模な展示会を各地で行う形式がよくとられる。Informa Marketing 社が主催する前記、4) 6) の展示会のほかに、2月には西海岸のアナハイムで、5月には東海岸のニューヨークで製造関連展示会（MD&M West、MD&M East）が開催される。既存や有望顧客が多い地域の展示会に出展して、ブース来場者に営業すれば、出張コスト削減と面談機会の増加に繋げられるので、出展を検討する価値がある。

3. ドイツ、ACHEMA 2024/2027と POWTECH 2025

3年に一度、フランクフルトで開催される、ヨーロッパ最大の化学技術（粉体技術を含む）の国際展示会 ACHEMA が、昨年2024年6月10～14日に開催された。次回は、2027年6月14～18日開催される予定。合間の1年半ごとに開催される、粉体技術の技術発表・国際展示会 POWTECH（ドイツ、ニュルンベルク）は前回、2023年9月24～26日に開催された。2025年は9月23～25日に開催される予定である。この2つの展示会はヨーロッパにおいて粉体関連で最大の展示会といってよい。

- POWTECH ウェブサイト <http://www.powtech.de/en/>
POWTECH 2019 実績 14,131人（来場者） 823社（出展社）
POWTECH 2023 実績 9,261人（来場者） 553社（出展社）
- ACHEMA ウェブサイト <https://www.achemade/en/>
ACHEMA2018 実績 144,000人（来場者） 3,737社（出展社）
ACHEMA2022 実績 70,007人（来場者） 2,211社（出展社）
ACHEMA2024 実績 106,001人（来場者） 2,842社（出展社）

4. インドと中国の展示会

- 1) **PM China 2025 (14th)** - China International Powder Metallurgy Exhibition 2025が、3月10～12日、中国上海で開催される。<http://en.pmexchina.com/>
- 2) **ChemExpo India 2025**が、インドのムンバイで、4月29～30日開催される。<https://www.chemexpoindia.com/>
- 3) **IPB2025 (Powtech China, 22nd)** が、7月21～23日、中国上海で開催される
<https://www.ipbexpo.com/en/index>

5. 韓国の展示会

- 1) **Korea Chem 2025**が、4月22～25日、韓国ソウルで開催される。<https://www.koreachem.org/eng/>
- 2) **Nano Korea 2025 (23rd)** が、7月2～4日、韓国ソウルで開催される。<https://nanokorea.or.kr/>
- 3) **A-Powder Tech 2025**が、8月27～29日、韓国ソウルで開催される。
<https://www.apowdertech.com/eng/main/main.php>

6. おわりに

北米では、昔から、販売代理店（Sales Rep.）制が採用されてきたが、高齢化が進み、技術を知りお客様に説明できる人材を見つけ出すのは年々難しくなっている。また、優秀な Sales Rep. はすでにブランディングができていて利益率の高い商品を売りたいがため、海外製の機械をゼロから販売することに後ろ向きの米国人も多い。また、日本の機器メーカーが北米で自社の機械を販売するためのマーケティング手法（動画、AIの活用など）も、日米の差が開いてきており、日本企業が劣勢に立たされている。

これを打開するには、米国企業と同じ土俵で勝負する覚悟が必要で、展示会も米国流に活用できるツールである。動画配信や AI を活用したブランディング・マーケティングを米国流に実践することに加え、展示会を貴重な営業機会ととらえ、リアルの小規模展示会を見直すことで日本企業の米国での浸透を図る戦略的思考が今必要と考える。